■ カーボンニュートラル対応技術動向講演会

次世代自動車センター浜松は、浜松市・浜松商工会議所・金融機関などで構成される「浜松地域脱炭素経営支援コンソーシアム」と連携を図りながら、地域のものづくり中小企業へのカーボンニュートラル対応支援事業として「製造時ＣＯ２削減活動」を展開しています。

今回、コストダウンにつながる省エネを中心にしたカーボンニュートラル対応の考え方、進め方、具体的な取り組み事例など、中小企業が参考になる情報を提供するため、カーボンニュートラル対応に取り組む大阪ガス株式会社様の最先端技術を紹介する基調講演を始め、はままつ脱炭素経営支援デスクによるものづくり中小企業への「省エネ」支援事例などを紹介する「製造時ＣＯ２削減活動実践セミナー」などを内容とする「カーボンニュートラル対応技術動向講演会」を開催しました。

■日　時 ： ２０２６年９月９日（水）14 時～16 時 45 分
■場　所 ： 浜松マリオットホテル
■参加者 ： ４２社／８０名

項目	内容等
開会	・主催者挨拶／(公財)浜松地域イノベーション推進機構　理事長 長田 繁喜 ・来賓挨拶／浜松市副市長　内藤 伸二朗 様 ・カーボンニュートラル実現に向けた浜松地域の取組について／浜松市産業部ＣＮ推進課 様 ・カーボンニュートラル対応技術動向講演会のねらい／次世代自動車センター長　堀 算伸
基調講演	「都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた大阪ガスのメタネーション技術開発について」 大阪ガス㈱ 副理事 エンジニアリング部 カーボンニュートラルメタン開発チーム マネジャー　横山 晃太 様
製造時ＣＯ２削減活動実践セミナー	①はままつ脱炭素経営支援デスクの紹介／(公財)浜松地域イノベーション推進機構 ②支援事例から学ぶ省エネ・コスト削減ポイントの見つけ方／はままつ脱炭素経営支援デスク ③まとめ／次世代自動車センター長　堀 坂伸

【開会】



＜主催者挨拶＞



＜来賓挨拶＞



＜浜松市カーボンニュートラル推進課 原田課長 様＞



【基調講演】





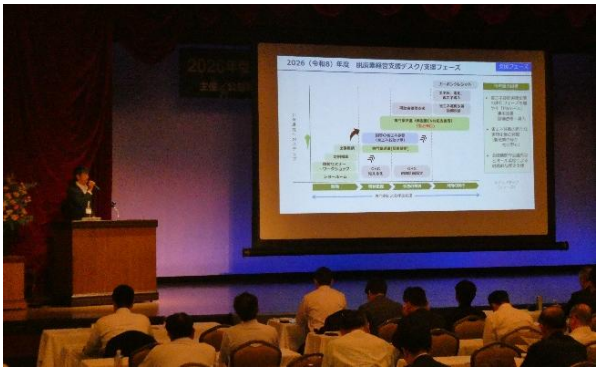
＜質疑応答＞





【製造時ＣＯ２削減活動実践セミナー】

＜浜松地域イノベーション推進機構 江馬専務理事＞　＜はままつ脱炭素経営支援デスク 大貫支援員＞





＜堀センター長による講演会のねらい「ものづくり中小企業の対応」と「まとめ」＞





【参加者の声】

○基調講演
・メタネーション技術の内容とその実現性について大変わかりやすく理解できた。
・e-メタンの取組事例について、規模感も含めてわかりやすく説明いただけた。
・熱エネルギーのＣＮにｅ-メタン技術が大きく寄与すると感じた。
・生ごみからｅ-メタンを製造できる技術は一部の天然ガスからの転エネとして、今後のＣＮ化の注目度が高いと思った。実績として大阪万博が参考になった。
・e-メタンの有用性、３種メタネーション技術開発の状況、仕組みについて理解を深めることができた。
・e-メタン導入に向けた実証や、海外での実装の取組みが参考になった
・熱エネルギーの脱炭素化の現実的な選択肢として、e-メタンの理解を深めることができた。
・ＣＮ対応として、燃料転換も１つのアイテムと考える。水素やアンモニアはよく耳にするが、e-メタンについてはあまり情報が無い状態であったため知見となった。
・e-メタンのような新エネルギーの使用がすぐそばに来ていることを知り、「エネ転」が今後進んで行くことへの希望が見えた。
・業務としてブタンガスを使用してガス加熱を行っているが、都市ガス又は電気加熱にするか今後の参考にしたい。
・弊社もメタネーションによるCO_2リサイクルに取り組んでいるが、サバティエ方式以外のバイオメタネーションなど様々な取組みを知ることができた。
・今後の産業用ＣＮのあり方としてコストイメージがついた。
・具体的に既存インフラが使えるなどｅ-メタンの有用性について理解できた。

○製造時CO_2削減活動実践セミナー
＜はままつ脱炭素経営支援デスクの紹介＞
・支援デスクやショールームの具体的な取組みが理解でき、参考になった。
・身近に相談窓口があることを知ることができた。
・中小企業向けの支援として有用なものと感じた。日々の経営で時間が取れず、かつ専門知識がない企業にとって、固定費用減に繋がるのでありがたい支援になると思った。
・省エネお助け隊の支援内容の詳細が参考になった。
・以前に省エネ診断を受診したことがあるが、省エネ活動に行き詰った際には、改めて相談したいと思った。
・ショールーム、他社事例を参考にさせていただきたい。
・Scope３についてサプライチェーンで削減を進めていく中で、省エネのやり方を学ぶ良い機会になると感じた。
・地域全体での脱炭素を進める枠組みが存在することを把握できた。

＜支援事例から学ぶ省エネ・コスト削減ポイントの見つけ方＞
・具体的な事例によって、これからＣＮに取り組む企業にとって理解しやすく、ＣＮ活動のきっかけになると思った。
・具体的な事例の紹介があり大変参考になった。自社にあてはめてポイントを探してみたいと思った。
・現場、設備運用使用者が「何がエネルギーのムダな行動か」理解しやすい説明だった。
・非稼働時間の電気代を考えたことが無かったので、一度、生産計画を考え直しても良いと感じた。
・コンプレッサーの設定圧力が必要圧力より高いムダな電力を使っていると知った。自社でもありえると思った。
・2028 年化石燃料賦課金導入もあり、コスト上昇を抑えるためにも省エネ活動を推進していきたい。
・今後の脱炭素潮流と企業の具体的な対応策をわかりやすく説明いただき勉強になった。
・非稼働時間帯に電力を消費する要注意設備トップ 10 は事業者への提案に活用できる点が参考になった。
・具体的な着眼点の提示や、見える化を進めることの重要性がわかりやすく理解できた。
・社内でやっている設備メンテ、５Ｓ、改善時の視点が間違っていないことがわかった。